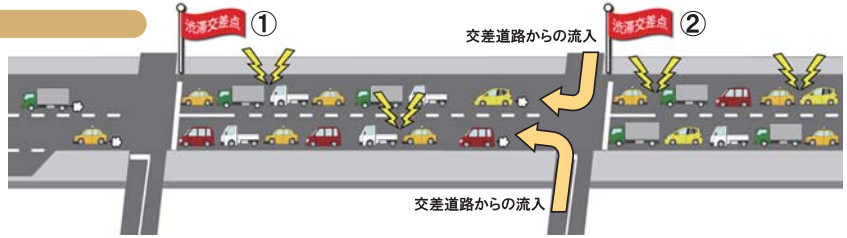
船橋市域改良の進め方

国道357号船橋市域の渋滞の先頭である栄町交差点（東京方面）、若松交差点（千葉方面）から交通円滑化対策を実施します。

【船橋市域改良の進め方のイメージ（例：東京方面）】

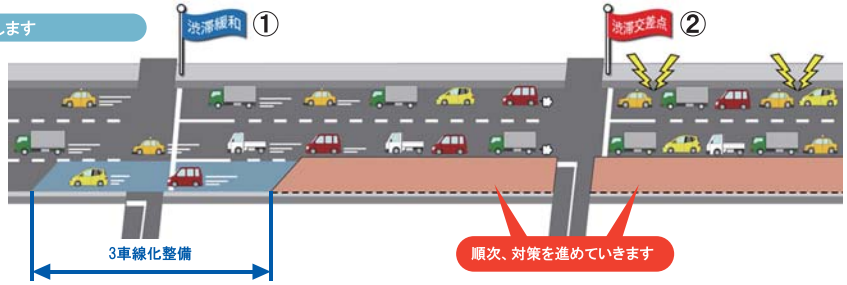
現在の状況

交差道路からの交通流入により、①の交差点を先頭に断続的な渋滞が発生。



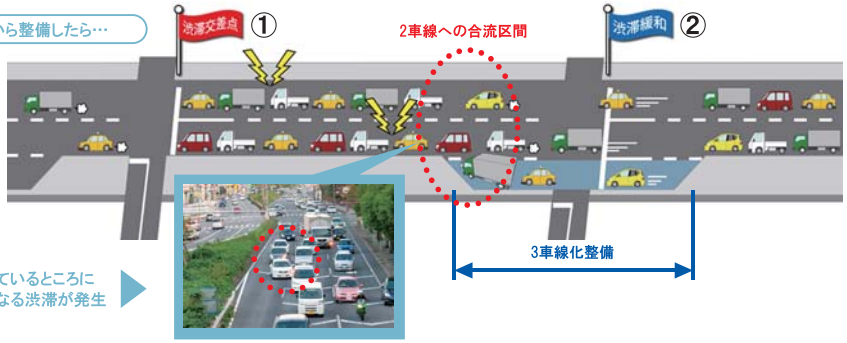
渋滞の先頭から整備します

渋滞の先頭である①の交差点から3車線化整備をすると、先詰まりが解消され渋滞の緩和を図ることが出来ます。



もしも、渋滞の途中から整備したら…

②の交差点から3車線化整備をすると、その先の2車線への合流区間で更なる渋滞が発生します。

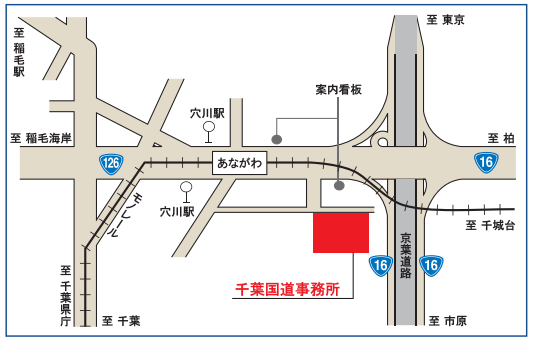


国土交通省 関東地方整備局
千葉国道事務所

〒263 - 0016
千葉市稲毛区天台5丁目27番1号
TEL ： 043 - 287 - 0311（代表）
ホームページ ： http://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/
千葉国道事務所 Twitter ： @mlit_chibakoku

アクセス

- 車 ／京葉道路 穴川インターより1分
- 電 車 ／JR稲毛駅（東口）にて「草野車庫行き」「こてはし団地行き」「山王町行き」「千葉センター行き」「ザ・クイーンズガーデン稲毛行き」のいずれかのバスに乗り、穴川駅で下車徒歩3分
- モノレール ／JR千葉駅にて千葉都市モノレールに乗り換え穴川駅で下車、徒歩3分



2018.3

■ 表紙衛星写真(C)PASCO/Includes material (C)JAXA

ROUTE 357

一 般 国 道 3 5 7 号

東京湾岸道路（千葉県区間）

船 橋 市 域

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

http://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/ ちばこく 検索

慢性的な渋滞の解消に向けて

国道３５７号は、首都圏の湾岸地域を結ぶ幹線道路として産業・経済・文化の交流を促進し、地域の発展に貢献しています。今後も地域の発展のためには、交通需要への適切な対応とともに、沿道の暮らしと環境に配慮した整備が必要となっています。

事業の目的と計画の概要

<目　的>

●交通混雑緩和、物流拠点とのアクセスを向上させ、物流の効率化等を図る。

<計画の概要>

事業区間：千葉県千葉市美浜区真砂～千葉県浦安市舞浜

計画延長：21.3km

標準幅員：50m～100m

道路規格：第4種第1級　第3種第1級

設計速度：60km／h　　80km／h

東京湾岸道路（千葉県区間）の事業経緯

市川・浦安市域※

昭和44年度	都市計画決定
昭和45年度	事業化
昭和47年度	工事着手
平成2年度	4種道路全線開通
平成18年度	千鳥町立体開通
平成19年度	高浜立体開通

※首都国道事務所が担当

船橋市域

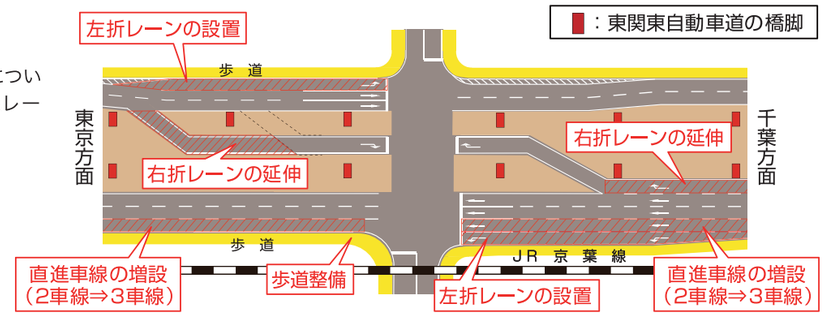
昭和44年度	都市計画決定
昭和45年度	事業化
昭和47年度	工事着手
昭和58年度	4種道路全線開通

千葉・習志野市域

昭和45年度	事業化
昭和47年度	工事着手
昭和58年度	4種道路全線開通
平成元年度	浜田立体開通

船橋市域改良のイメージ図

船橋市域の渋滞の著しい交差点部について、右左折レーン設置・延伸や直進レーン増設を実施していきます。



船橋市域の渋滞状況

■船橋地区の渋滞状況

若松交差点から二俣交差点区間は、物流施設や大規模商業施設等が進出したため、交差道路の出入り交通が増大し、湾岸地域の中でも渋滞の発生しやすいポイントとなっています。交通量も多く、日平均5～6万台前後の車両が走行しています。

浜町２丁目交差点

日の出交差点